



## 夢にチャレンジ東っ子

～元気いっぱい 笑顔あふれる 児童の育成～

令和3年度 三根東小学校  
学校だより 第7号

令和 3年 7月 8日  
文責 校長 中村 美枝子

### 2年生、町たんけんで大発見！

2年生は、生活科の学習で町探検に出かけています。身近な自然や公共物、人などのかかわりを通して、その特徴やよさに気づき、生活を楽しもうとする力を育んでいます。

矢俣神社、土井内公園など、日頃はあまり訪れたことのない場所を、友だちと一緒に探検しました。樹齢400年以上の大楠と出会い、その大きさに驚きながら、周りの落ち葉や木の実、生き物なども発見して大喜び。木の下で卵の殻を見つけ、木に巣づくりしている野鳥の存在にも気付いた子供たち。公園では学校にない遊具で友だちと仲よく遊びました。次の探検が待ち遠しいです。



矢俣神社のひみつを探して



土井内公園で仲良く遊ぶ

### ネットのトラブルについて考える



ネットトラブルについて学ぶ SNSで気をつけることは・・・

今年度最初の授業参観で、高学年は、保護者の方と一緒にネットトラブルについて学びました。みやき町の消費生活相談員の中村桂子さんを講師に、小学生がインターネットのトラブルで、どんな危険な場面に出ているのかを教えてくださいました。気軽に写真をネットにアップし拡散したりゲームアプリで高額請求をされたり、ラインで睡眠時間が奪われたりなど危険がいっぱい潜んでいることを知りました。SNSで我が子と友だちとの言葉のやりとりで誤解が生まれていないかご確認ください。

### 青木文庫に新刊が届きました

本校の元校長「青木光治先生」のご遺志を引き継がれ、「青木徳代先生（奥様）」から、毎年、本校の子供たちへ図書費を寄贈いただいております。今年度もご家族から十万円が寄贈されました。この費用を活用し、「子供たちが読みたい本」を購入させていただきました。

購入した本は、青木文庫として登録し、7月から貸し出しを始めたところです。子供に人気の本ばかりですので、図書室を訪れる子供たちが手に取って嬉しそうに借りていく姿を目にします。

ご厚意により、子供たちが本の世界の楽しさを味わうことができ、心より感謝申し上げます。



青木文庫の新刊コーナー



新刊を手にする6年生

⇒ 裏面もご覧ください。

### 今後の行事等について

#### 個人懇談会について

・7月21日(水)～27日(火) 13:30～16:30

#### PTA 理事会・代議員会

7月27日(火) ・理事会 18:30～：校長室にて

・代議員会 19:00～：体育館にて

※ マスク着用でご出席ください。

#### 夏休み中の主な行事

・7月21日～8月31日：夏季休業

・7月21, 26, 27, 28日 図書館開館日

開館時間⇒9:00～16:00

・8月26日(木)：5, 6年生登校日

8:30～11:30

※学校閉庁日 8月10日～13日

#### 家庭訪問について

・8月2日(月)～8月4日(水) 13:30～16:30

※玄関先で短時間、訪問させていただく予定です。

<2021年祝日の移動(特例措置)について>

海の日 7月19日⇒7月22日(19日は平日)

スポーツの日 10月11日⇒7月23日

山の日 8月11日⇒8月8日(11日は平日)



## ゲストティーチャーから学ぶ「総合的な学習」(3・4年生)



河川事務所の方から学ぶ3年生



ゲストティーチャーキャラバン隊の皆様



寸劇を見ながら考える4年生

3年生は総合的な学習で「筑後川の自然や生き物」について学んでいます。子供にとって身近な筑後川ですが、より深く学ぶために筑後川河川事務所の方をゲストティーチャーとして「筑後川がどんな川か」について洪水の歴史や川に住む生き物などについて映像で分かりやすく教えていただきました。昭和28年の大洪水時の様子や三根町も氾濫区域だったことを知り、自分たちも洪水への備えが必要なの分かりました。また、筑後川に住む魚たちの中には、外来種によって数が減り、絶滅危惧種になっている魚がいることも分かり、筑後川をより身近に感じることができました。

4年生は「地域の福祉」について学んでいます。その一環としてみやき町地域包括支援センターのキャラバン隊の方をゲストティーチャーとして認知症について教えていただき、認知症の症状やその方々との関わり方などについて寸劇を見ながら考えることができました。認知症の人にどのように声をかけ手助けできるのか、徘徊する高齢者や支払いに困っている方を想定した寸劇から「自分ならどうするか」よりよい関わり方を考えることができました。認知症の方へのよりよい対応のポイントも教えていただき、「これからは困っている人にやさしく声をかけていきたい」「これからの学習や生活に生かしていきたい」などの思いを抱くことができた子供たち。

ゲストティーチャーの専門的な立場からのお話で、より深く認知症について学ぶことができました。貴重な時間を作っていただき、ありがとうございました。

## 地域の方と触れ合うことができるようになりました。



JAの方と田植えをする5年生



カンナの会のサポートをうける制作クラブ



読み聞かせで本の世界を楽しむ

コロナ感染症拡大防止のため、これまで行ってきた地域の方との触れ合い活動を見合わせてきましたが、6月末より少しずつ地域の方と一緒に活動に取り組み始めました。

5年生は「米博士になろう」をテーマとした総合的な学習の一環で JA 南茂安青年部の方々から手ほどきを受けながら「田植え」にチャレンジしました。田んぼならではの土の感触を感じながら、上手に苗を植えることができました。

4年～6年生の子供が参加する制作クラブでは「カンナの会」の皆様にご指導いただきながら、手作りの置物づくりに取り組んでいます。手をとりながら分かりやすく教えていただけるので、戸惑うことなく自分だけの置物が完成しています。朝の読書タイムでは、読み語り「ファンタジー」の方による読み聞かせも始まりました。温かい声での読み語りに耳を傾け、本の世界に浸っています。

地域の皆様のご支援・ご協力により、学校生活や学習の幅が広がり、楽しい時間を過ごすことができていることに感謝しています。今後も、ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。